

## 平成 23 年度 地域密着型金融の取組状況について

平成 24 年 6 月 29 日

当金庫は、地域に根ざした金融機関として地域の活性化・発展に寄与することが、社会的使命であると考えております。経営理念に掲げる「地域金融の徹底」、「地元との共存共栄」の実現に向け、平成 23 年度に策定・公表しました「じゅうしん地域活性化サポートプラン」(平成 23 年度～平成 24 年度)に基づき、地域経済の活性化支援や中小企業金融の円滑化等に鋭意取り組んでいます。

平成 23 年度の主要な取組状況は以下のとおりです。なお、詳細につきましては、別途「2. 取組項目 (1) 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮、(2) 地域の面的再生への積極的な参画、(3) 地域や利用者に対する積極的な情報発信」を掲載しています。

### 【平成 23 年度の主要な取組状況】

#### 1. 取組計数等

##### (1) 経営改善支援取組先、再生計画策定率、ランクアップ率

- ・経営改善支援取組先： 84 先
- ・再生計画策定率：100.0%
- ・ランクアップ率： 6.0%

※経営改善支援の取組状況の内訳につきましては、別添資料をご参照願います。

(2) 創業・新事業支援融資実績

- ・創業支援融資「じゅうしんスタートローン」(当金庫融資商品)

取扱件数：18件(うち大阪府制度「金融機関提案型融資」15件)

貸出金額：80百万円(うち大阪府制度「金融機関提案型融資」60百万円)

- ・大阪府開業資金融資(大阪府中小企業信用保証協会保証付融資)

取組件数：11件

貸出金額：62百万円

- ・大阪市チャレンジ融資《創業支援型》(大阪市信用保証協会保証付融資)

取組件数：2件

貸出金額：13百万円

(3) 成長段階で更なる飛躍が見込まれる企業への支援融資実績

- ・不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資への取組実績

売掛債権担保融資

取組件数：10件

貸出金額：99百万円

- ・大阪府チャレンジ応援資金融資(大阪府中小企業信用保証協会保証付融資)

取組件数：1件

貸出金額：60百万円

(4) 利用者側の声を把握するためのCS調査等を年1回実施し、結果を取りまとめ公表

お客さまの取引の利便性向上を目的に、お客さまの意見等を継続してお聞かせ頂くため、営業店に「ご意見箱」を常設しています。

- ・ アンケート回収期間：平成23年4月～23年9月(上期)、回収：2,197枚  
：平成23年10月～24年3月(下期)、回収：1,778枚

・ お客さまの評価

平成23年度下期実施のアンケート調査の結果、評価は前回と比較し4項目中3項目で向上しました(うち1項目は変わらず)。今後もお客さまから頂いたご意見等をもとに、お客さまの取引の利便性向上に向けた取組みを推進してまいります。

なお、当アンケート調査結果の詳細につきましては、平成24年7月末発行予定のディスクロージャー誌「DISCLOSURE 2012 十三信用金庫の現状」をご参照願います。

## 2. 取組項目

### (1) 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

取組方針	23年度の取組み	取組み実績等（平成23年4月～平成24年3月）
創業・新事業開拓を目指す企業への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>当金庫融資商品「じゅうしんスタートローン」による創業・新規事業支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業支援融資「じゅうしんスタートローン」（当金庫融資商品） 取組件数：18件（うち大阪府制度「金融機関提案型融資」15件） 貸出金額：80百万円（うち大阪府制度「金融機関提案型融資」60百万円）</li> <li>平成23年度より大阪府制度「金融機関提案型融資」（大阪府内にて創業予定または創業後2年以内の中小企業が対象）の承諾を受け、大阪府からの資金預託により金利引下げが可能となった。 また、大阪府商工労働部、大阪府中小企業信用保証協会（保証制度上の制約がある創業予定者に対し、当金庫商品を紹介）、大阪商工会議所（企業向け、経営指導員向け説明会に参加）といった外部機関との連携を進めた。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方公共団体の制度融資（大阪府制度融資「開業サポート資金」等）の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大阪府開業資金融資（大阪府中小企業信用保証協会保証付融資） 取組件数：11件 貸出金額：62百万円</li> <li>大阪市チャレンジ融資《創業支援型》（大阪市信用保証協会保証付融資） 取組件数：2件 貸出金額：13百万円</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門家による技術評価、販路開拓等の提案・活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度は、左記の提案・活用に成果がみられなかったが、平成24年度に大阪府制度「開業サポート資金～地域支援ネットワーク型」取扱いについて、大阪商工会議所と協定書を締結し、経営指導員による事業計画書策定支援および融資後3年間の経営フォローアップを連携して実施する予定。</li> </ul>

取組方針	23年度の取組み	取組み実績等（平成23年4月～平成24年3月）
成長段階における更なる飛躍が見込まれる企業への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>「淀川ビジネス・エキスポ」の開催によるビジネス交流やビジネス情報の提供等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当金庫と大阪商工会議所 新淀川支部との共催によりビジネスフェア第6回「淀川ビジネス・エキスポ2011」を開催（平成23年10月26日・27日）。「技術と創意で築く地域ブランド」をテーマに、淀川3区（淀川区、東淀川区、西淀川区）に立地もしくは拠点を置く企業の商品や技術を紹介、ビジネスパートナー発掘や販路拡大の場を提供することで、地域活性化と中小企業の経営支援に取り組んでいる。 「淀川ビジネス・エキスポ2011」開催結果 出展者数：31社1団体 来場者数：約2,000名 商談成約、見積もり依頼、経営相談等の成果があった。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスマッチング業務「信金PLUS+事業」による販路拡大及び資金円滑化支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>（独）中小企業基盤整備機構 近畿支部と当金庫をはじめ近畿地区12信金が連携し、大手企業とのビジネスマッチングモデルを構築しビジネス機会の提供を行っている。</li> <li>大手電機メーカーとハウスメーカーからの具体的な技術課題を受け、その課題を取引先企業へ提示した結果、提案3件・面接1件に繋がった。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「じゅうしんマネージメント・クラブ(JMC)」の勉強会を通じた会員経営者のマネージメント・スキル向上支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>若手経営者への経営サポートとして年4回(勉強会3回、工場見学1回)実施し、延べ約330名が参加した。</li> <li>勉強会、懇親会を通じ異業種交流を進めており、情報交換の場ともなっている。</li> <li>JMC第27回勉強会（平成23年11月24日実施）において、宮端 清次氏（元㈱はとバス 代表取締役社長）を招き、「はとバスのV字回復～挫折と失敗から身につけたリーダーの鉄則～」をテーマに講演会を実施した。</li> <li>JMC第28回勉強会（平成24年2月10日実施）では、稲林 章氏（元マツダ㈱ 取締役購買本部長、元西川化成㈱ 代表取締役社長）を招き、「ものづくり経営 地道に愚直に徹底に～意識が変われば会社が変わる～」をテーマに講演会を実施した。</li> </ul>

取組方針	23年度の取組み	取組み実績等（平成23年4月～平成24年3月）
成長段階における更なる飛躍が見込まれる企業への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「大阪大学産業科学研究協会」（産研協会）との連携による研究開発、知的財産活用等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産研協会主催による中小企業向け知的財産経営講座「I P アカデミー（I P : Intellectual Property=知的財産）」に、当金庫会員枠にて取引先1社が受講（開講期間：平成23年10月～平成24年3月まで月1回・全6講座）。「淀川ビジネス・エキスポ 2011」会場にて産研協会と連携して推進した。</li> <li>・平成24年度も知的財産を活用した経営に前向きな企業へのPRに努める。また、「産研テクノサロン」（講演会・交流会）参加、研究開発等における産研と中小企業の連携仲介についても進める。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A B L（動産・売掛債権担保融資）等、不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売掛債権担保融資 取組件数：10件 貸出金額：99百万円</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方公共団体の制度融資（大阪府制度融資「チャレンジ応援資金」等）の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪府チャレンジ応援資金融資（大阪府中小企業信用保証協会保証付融資） 取組件数：1件 貸出金額：60百万円</li> </ul>
経営改善が必要な企業への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金融円滑化管理態勢に沿った返済条件変更等への柔軟な対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金融円滑化管理方針及び内部管理規定を整備し、金庫内に周知。取引先の事業状況等を勘案するなど適切な金融円滑化に努めている。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営改善支援、経営改善計画策定支援及び進捗状況のフォロー 当金庫「企業再生支援チーム」と営業店との連携した取組み、大阪府の専門家派遣制度「OSAKA経営力アッププロジェクト」等の提案・活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度の重点的な経営改善支援先（「特定債権先」）として86先を選定、うち5先が債務者区分をランクアップさせた。</li> <li>・平成24年度は特に「中小企業金融円滑化法からの出口戦略、ソフトランディング」を重視し、貸出条件を緩和した取引先の経営改善による返済正常化に向けて、外部専門家とも連携した取組みの実効性向上に努める。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A B L（動産・売掛債権担保融資）等、不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売掛債権担保融資 取組件数：10件 貸出金額：99百万円</li> </ul>

取組方針	23年度の取組み	取組み実績等（平成23年4月～平成24年3月）
事業再生や業種転換が必要な企業への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業再生支援協議会や(独)中小企業基盤整備機構のスキームによる「おおさか中小企業再生ファンド」等、外部機関との連携強化及び活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度中に中小企業再生支援協議会の支援により再生計画の策定や関係金融機関の合意に至った取引先はなかったものの、平成22年度までに再生支援協議会が支援し策定された再生計画について3社が継続取組みを行っている。</li> <li>・「おおさか中小企業再生ファンド」へ当金庫より持ち込んだ再生案件はなかった（平成24年3月末現在、これまでのファンド支援先5社は全て他金融機関のリファイナンスを受け卒業している）。</li> <li>・平成24年度は「中小企業金融円滑化法からの出口戦略、ソフトランディング」にも関連し、特に中小企業再生支援協議会との連携を深める（一般的な情報交換、再生案件持ち込みに関する事前相談等）。</li> </ul>
事業継承が必要な企業への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信金キャピタル(株)とのM&amp;A業務に関する協定書締結による取組み・支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・M&amp;Aの案件が発生進展すれば協定書を締結する予定としている。平成23年度中に発生した案件1件については進展がなかったものの、今後情報収集を進めるとともにノウハウ・スキルの向上を図り、マッチング支援に取り組む。</li> </ul>
コンサルティング能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業診断士・社会保険労務士等、国家資格取得支援制度の充実・強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国家資格取得支援制度による支援対象者（平成20年度以降）  <ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業診断士：20名（うち2名：資格取得、1名：1次試験合格）</li> <li>社会保険労務士：5名</li> <li>1級FP技能士：16名（うち5名：資格取得）</li> </ul> </li> <li>中小企業診断士2名、1級FP技能士4名については、それぞれ営業活動を通じて取引先企業のコンサルティング業務を実施中。</li> </ul>

取組方針	23年度の取組み	取組み実績等（平成23年4月～平成24年3月）
コンサルティング能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職能別講座等外部研修への職員派遣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国信用金庫協会 「金融円滑化法対策コンサル」</li> <li>・近畿地区信用金庫協会 「事業継承セミナー」、「目利き強化と経営支援実践」</li> <li>・大阪府信用金庫協会 「目利き養成」、「目利き養成実務」、「事業所融資開拓」、「中小企業経営改善支援」</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営改善支援等ノウハウ等の金庫内研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金融円滑化法に関するO.J.T.実施状況 全店 延べ130回 2,683時間</li> <li>・平成24年3月「融資担当役席勉強会」において、審査部・企業再生支援チーム担当者より経営改善計画のモニタリング、フォローアップ等に関する留意点について研修を実施した。</li> <li>・平成24年度は「中小企業金融円滑化法からの出口戦略、ソフトランディング」にも関連し、外部研修で習得したノウハウ等も活用し、より実践に適した内容となるよう検討する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「年金推進リーダー」勉強会による年金基礎知識の習得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務推進部が各店1名の年金推進リーダーを任命、「年金のてびき」や「年金推進用デモシート」等の活用による年金相談事例演習・年金推進活動等について勉強会を実施した。 平成23年度 4回実施</li> </ul>

## (2) 地域の面的再生への積極的な参画

項目	23年度取り組み	取り組み実績等（平成23年4月～平成24年3月）
<p>各種の地域情報収集・蓄積、地域の面的再生への参画による地域経済全体の活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おおさか中小企業再生ファンド」への出資</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（独）中小企業基盤整備機構のスキームによる「おおさか中小企業再生ファンド」へは今年度、新規1案件の債権買取りに出資したが、当該案件を含む2案件がリファイナンスにより卒業となった。</li> <li>・平成24年度は「中小企業金融円滑化法の最終延長を踏まえた中小企業の経営支援のための政策パッケージ」（平成24年4月20日付、内閣府・金融庁・中小企業庁発表）に示されているとおり、事業再生ファンドの設立が促進される方向性であり、出資・活用について情報収集等に努める（現ファンドの契約上、存続期間は平成25年4月まで）。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方公共団体(商工部門)、信用保証協会等との地域経済活性化を見据えた意見交換の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①大阪府中小企業信用保証協会、大阪市信用保証協会の開催する「保証情報交換会議」、②大阪府商工労働部 金融支援課の開催する「政策融資推進会議」、③大阪商工会議所 中小企業振興部 経営相談室の開催する「地域金融懇談会」等に参加し、情報・意見交換等に努めている。また、必要に応じて相互訪問し、より詳細な実務レベルの情報交換等を行っている。平成24年度も交流頻度・内容は深まるものと思われる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「なにわ淀川花火大会」、十三寄席「嘶のにぎわい」等、地元開催行事への参加・協賛による商店街活性化支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年の「なにわ淀川花火大会」は8月6日に開催され、大会の当日は当金庫の若手職員が中心に入場券の発売やVIP招待者の受付・会場案内に、また大会翌日には会場周辺の清掃活動に、合わせて42名がボランティアとして参加し大会をサポートした。</li> <li>・十三寄席「嘶のにぎわい」は3か月に1度、年4回開催し、地域活性化の一助となっている。毎回90名近いお客様をお迎えし地元商店街を応援している。</li> </ul>

### (3) 地域や利用者に対する積極的な情報発信

項目	23年度の実績	取組み実績等（平成23年4月～平成24年3月）
地域密着型金融の取組みに関する具体的な目標や成果の公表	<ul style="list-style-type: none"> <li>金融知識の普及活動の取組内容公表（インターンシップ(大学生対象)、職場体験学習(中学生対象)）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターンシップ(大学生対象) 参加学校数： 9校 参加学生数： 18名</li> <li>職場体験学習(中学生対象) 参加学校数： 10校 参加学生数： 44名</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ご意見箱」等、各種アンケート調査結果と取組状況の公表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客アンケート（ご意見箱）は、半期ごとに設問を見直し、地域の声、要望等の情報収集を実施している。</li> <li>「ご意見箱」アンケート調査結果 アンケート回収期間：平成23年4月～平成23年9月（上期） ：平成23年10月～平成24年3月（下期） 回収枚数：2,197枚（上期） ：1,778枚（下期） アンケート調査結果は今後の業務運営の参考とし、ディスクロージャー誌（平成24年7月末発行）にて公表している。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「年金支援グループ」による年金相談会の実施状況の公表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひと月に2か店のペースで継続的に店頭相談会を実施、合計46名が来店した。相談内容の内訳は、調査に関するもの18件、裁定請求書に関するもの11件、変更手続に関するもの5件となった。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>お取引先企業を対象とした景気動向調査等の実施及び調査結果の公表（季刊誌「じゅうしんクォーター」）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間4回発行し「じゅうそう会」会員に送付。</li> <li>各店から継続的に事業所先へ配布し、景気動向等の調査結果や税制改正等、タイムリーな話題・情報を提供している。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本計画の取組み状況の公表（ディスクロージャー誌、ホームページ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度に策定・公表した「じゅうしん地域活性化サポートプラン」の取組み状況は、ディスクロージャー誌およびホームページで公表している。</li> </ul>

●経営改善支援取組率、ランクアップ率、再生計画策定率

【平成23年4月～平成24年3月】

(単位:先数)

	期初 債務者数	うち				経営改善支援 取組率	ランク アップ率	再生計画 策定率
		経営改善支援 取組み先数	aのうち期末に 債務者区分が ランクアップし た先数	aのうち期末 に債務者区分 が変化しな かった先数	aのうち再生計 画を策定した 先数			
	A	a	b	c	d	a/A	b/a	d/a
正常先 ①	4,369	2		2	2	0.0%		100.0%
要注意先	うちその他 要注意先 ②	1,732	73	5	61	4.2%	6.8%	100.0%
	うち 要管理先 ③	2	0	0	0	0.0%	-	-
破綻懸念先 ④	190	11	0	9	11	5.8%	0.0%	100.0%
実質破綻先 ⑤	114	0	0	0	0	0.0%	-	-
破綻先 ⑥	79	0	0	0	0	0.0%	-	-
小計 (②～⑥の計)	2,117	84	5	70	84	4.0%	6.0%	100.0%
合計	6,486	86	5	72	86	1.3%	5.8%	100.0%

- (注) ・期初債務者数及び債務者区分は23年4月初時点で整理しています。  
 ・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含みません。  
 ・bには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。  
 なお、経営改善支援取組み先で途中で完済した債務者はaに含めるもののbに含めません。  
 ・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はbに含めています。  
 ・期初に存在した債務者で途中で新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理しています。  
 ・中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めません。  
 ・cには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しています。  
 ・みなし正常先については正常先の債務者数に計上しています。